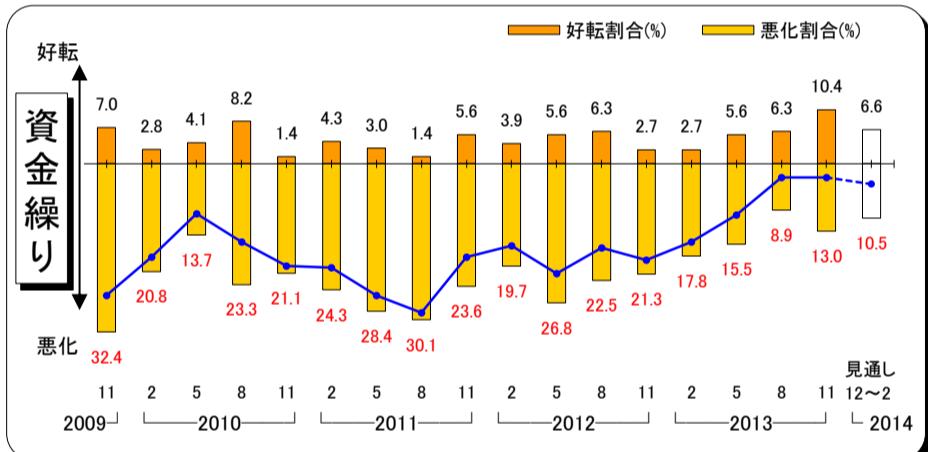
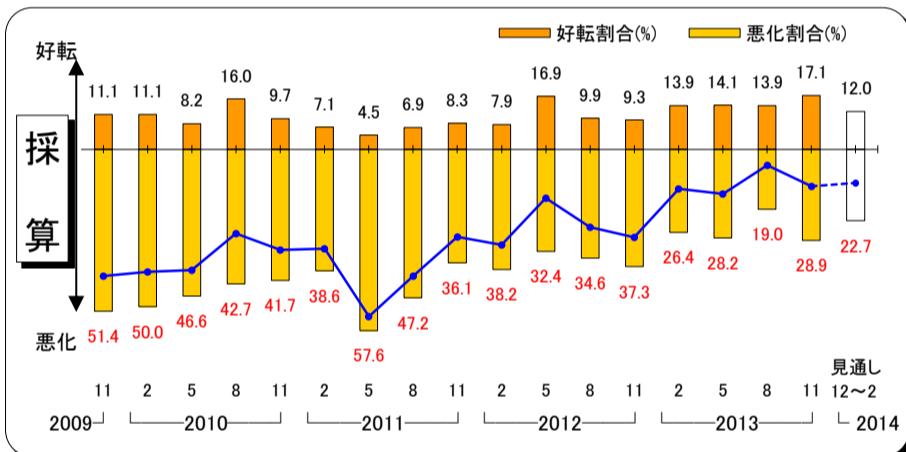
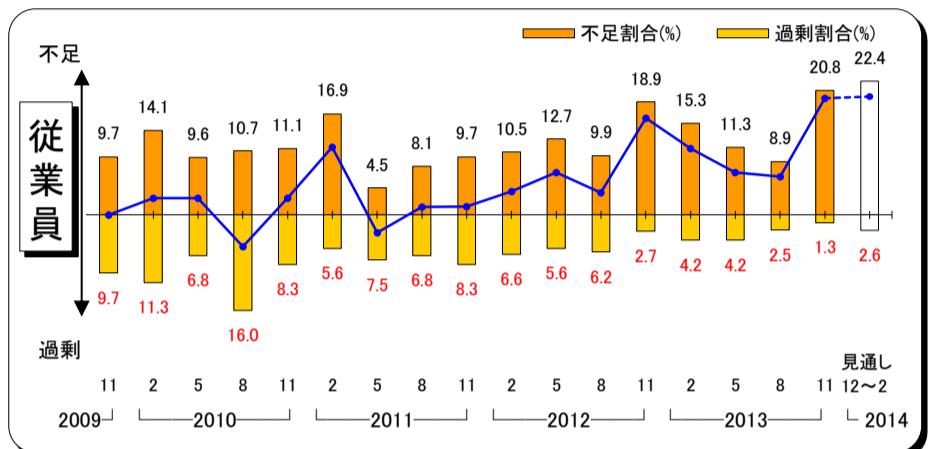
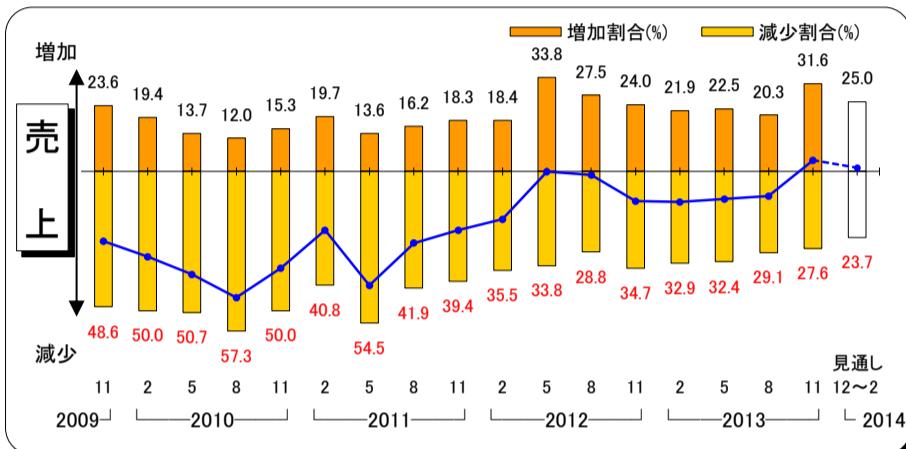
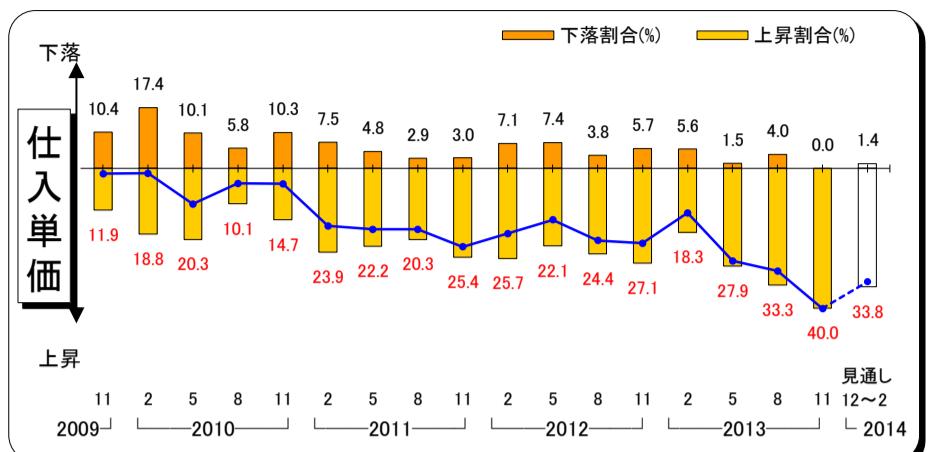
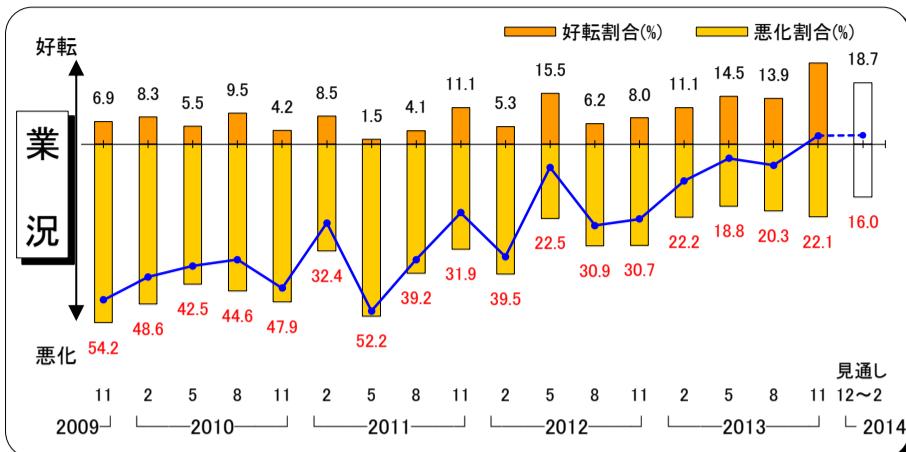


【サービス業】①



【サービス業】②

企業の声（順不同）

運輸附帯サービス業	円安による原材料価格の変動もようやく落ち着いてきている。景況感の上向き傾向も現状では認識出来ない。輸出の好転による景気回復の兆しが業種によってみられるようだが、中小零細企業にはその兆しも見えない。雇用の流動化を懸念したが、未だその傾向はないと思われる。極端な状況変化の舵取りの効く規模でもなし。時折の対処だけではアベノミクスの効果はない。
不動産賃貸業	夏場以降、数年ぶりに貸事務所・店舗に活発な引合い・成約が続き、長期間空室であった物件の稼働率が好転してきました。
建設機械器具賃貸業	原油価格の高騰の影響が大きい。仕入単価が上昇している。
物品賃貸業	ナイト市場の景気動向と夜間取締の状況に注目している。
経営コンサルタント業	弊社はコンサルティング会社ですが、お客様（全業種）が意識として上昇気運となっており、多少なりとも、私どもの業種にも好影響があると思われます。
建築設計業	消費税増税前の駆け込み需要による一時的な活況の懸念がある。本格的な景気回復の実感は無い。
建築設計業	リーマンショック後からはやや立ち直り、2期連続で黒字（10月決算）になったが、先行き見通しは不透明である。特に来年4月以降の消費税率引き上げの影響は未知の世界である。
旅館・ホテル業	我々地場のサービス業ではアベノミクスの効果などはまったく感じ取ることが出来ず、逆に円安の影響から輸入物の原材料価格が高騰して利益率が著しく低くなっている。来春からの消費税増税でも価格が転嫁できるのは一部に限られ、先行きはまったく明るさが見えない。政府には我々のような地方の中小企業の声は届いていないのではないか！
旅館・ホテル業	当業界全体の業況は上昇傾向にあると思う。ただ、千葉市に関しては供給が増えているので、苦しい状況は続いている。
専門料理店	輸入事業は円安と原産地価格上昇により、原価がアップしています。レストランは輸入事業の減少分を補うような形で売上が増えているため助かっています。今後、両部門とも売上増を見込んでいますが、仕入原価の変動がどう影響するかが分かりません。また、消費税率アップの前後の動向についても、どう判断するかが重要だと思います。
そば・うどん店	原材料価格の値上がり及び個人消費の減少（消費者の低価格弁当購入等への動き）により、配達の激減が影響している。
機械修理業	近県の工事等は増加にて基礎工事は好転の様子。単価はさほど上がっている様子はうかがえません。車輌の盗難等犯罪被害が多発しているとかなり強く感じられます。被害に対して検挙はものすごく低下していると思われます。トラック・建機の盗難被害は、人身が絡まないので、再犯が激増するのかも知れません。
ビルメンテナンス業	建設資材、石油製品の価格上昇が収益を圧迫している。
ビルメンテナンス業	幕張新都心や市原などで、大きなショッピングモールのオープンが相次ぎ、当社が求人募集をかけても人が集まらない状況が続いている。
ビルメンテナンス業	新規の資機材導入による原価や人件費等の削減に期待。従業員の高齢化もあり、人員が不足している。